

令和3年度 第2回 西脇市文化財保護審議会

令和4年2月28日(月) 午後2時～
生活文化総合センター ミーティングルーム

1 開 会

2 会長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 報告及び意見交換

(1) 令和3年度文化財関係事業報告について

ア 文化財保護事業

イ 郷土資料館事業

(2) 令和4年度文化財関係事業計画について

ア 文化財保護事業

イ 郷土資料館事業

(3) 観音寺のカヤ 市指定文化財について

(4) その他

5 閉 会

西脇市文化財保護審議会委員名簿（第9期）

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日まで

	氏 名	住 所	備 考
会 長	佐野 允彦	神戸市東灘区	学識経験者（文化財報道・活用）
副会長	瀧原 務	加東市	学識経験者（近世史）
	足立 裕司	西宮市	学識経験者（建築学）
	大平 茂	小野市	学識経験者（考古学）
	芝本 満	西脇市	学識経験者（郷土の歴史活用・啓発）
	埴岡 真弓	姫路市	学識経験者（歴史学・民俗学）

事務局	教育長	笹倉 邦好
	教育部長	森脇 達也
	生活文化総合センター館長	大隅 誠一
	〃 主任	菅澤 敏弘
	〃 会計年度任用職員	中末 瑞貴

令和3年度 文化財関係事業報告（文化財保護事業）

実施事業名	実施時期	実施内容等
各種開発に伴う埋蔵文化財所在照会に対する回答	随時	令和4年2月25日現在 270件 うち埋蔵文化財包蔵地内9件（民間6件、公共3件） 本発掘調査1件、確認調査2件、試掘調査1件、 分布調査1件（包蔵地隣接地）
市原羽安線道路改良工事発掘調査に伴う、出土遺物整理及び報告書作成について	通年	現在、報告書を発注済み。 年度末に、発行予定。落札価格 1,284,800円
指定文化財管理事業	11月20日 完成	市指定文化財下山古墳公園(11/20)及び、古窯陶芸館(8/22)の草刈り、植木剪定等。委託費 187,000円
旧西脇尋常高等小学校の国重要文化財指定 木造校舎 3棟 附：東便所、西便所、東渡廊下、西渡廊下 各1棟、中央渡廊下2棟、正門1所	5月21日 答申 8月2日 指定	10月28日 兵庫県教育委員会文化財課甲斐課長下見 11月4日 兵庫県移動教育委員会視察 11月12日 文化庁稲垣調査官、保存活用計画策定に係る 現地指導。 令和4年2月13日 記念シンポジウム開催
県指定文化財住吉神社本殿の小修理の実施	4月～5月	経年劣化における檜皮の破損個所について、応急処置としての補修を実施。（所有者の自費にて実施）
令和4年度、指定文化財補助事業計画ヒアリング	9月2日	次年度文化財保護事業についてのヒアリング（要望） ■西脇小学校保存活用計画策定（2ヵ年事業） ■莊厳寺（多宝塔 檜皮葺替、部分修理、） （長期計画） ・兵主神社（拝殿 萱葺替、半解体修理）
無形民俗文化財調査	7月20日 10月10日 1月4日	「お般若」（未指定）大般若経転読。 薬師堂（大木町）にて、大般若経（市指定）の転読。 石上神社なまずおさえ神事（県指定） 八幡神社お笑い神事（市指定） 妙覚寺ワラワラ（市指定）
文化庁補助事業 令和3年度「地域文化財総合活用推進事業」	4月～	西脇市歴史文化遺産活用活性化実行委員会 ①大木町太鼓屋台修理事業（大木町太鼓保存会） ②田高太鼓屋台修理事業（田高太鼓保存会） ③郷瀬町太鼓屋台修理事業（西脇市郷瀬町太鼓保存会） 採択額 5,291千円
東播磨・北播磨地区文化財担当者会議	1月19日	内容：各市町からの提案議題、回答に基づく意見交換
緑風台古窯陶芸館管理運営		兵庫県指定文化財緑風台窯跡及び出土遺物の保存公開と陶芸の普及啓発。（緊急事態宣言発令のため4月25日～5月11日まで臨時休館） 1月末日現在利用者数 263人（昨年度比 58人減）
第1回西脇市文化財保護審議会	12月23日	諮問候補物件の審議
文化財防火デー （西脇消防署共催）	1月25日 （中止）	実施場所：大通寺 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
第2回西脇市文化財保護審議会	2月28日	観音寺のカヤについて諮問
文化財保存活用地域計画作成	通年	市内全域の文化財の総合的な把握 ・西脇市史等の既刊行物等からのリストアップ

令和3年度 文化財関係事業報告（郷土資料館事業）

実施事業名	実施時期	実施内容等
古文書講座	11月～3月の 各月第2土曜日 (全5回)	講師：松尾良隆氏 受講申込者数：20名
夏休み体験教室	8月8日(日) 8月15日(日) ・22日(日)	播州織コースターづくり 参加者数：小学生9名(保護者5名) 勾玉消しゴムをつくろう！ 緊急事態宣言発令により中止
『史跡を訪ねて津万の里ウォーキング』(主催：津万自治協議会)	10月23日(土)	西林寺境内～寺内古墳群周辺の案内、解説 参加者：50人
北播磨郷土歴史セミナー (主催：北播磨県民局ビジョン委員会)	10月30日(土)	座学「西脇市の歴史と文化財について」 飛び出す絵本(弥生時代のむら)作成 郷土資料館及び古窯陶芸館の展示解説 参加者：25名
第85回特別展 「これなあに・むかしの道具26」	11月27日～ 4年3月21日	小学校の社会科教材に対応 市内及び近隣市町の小学校から団体見学の対応
令和3年度 ひょうごミュージアムフェア	1月8日(土) ～2月6日(日)	開催場所：尼崎市立歴史博物館 85回特別展の資料配布
ふるさと探訪ハイキング	年1回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
研究紀要『童子山』第25号発刊	未定	
収蔵資料燻蒸作業	3月22日～24日	年間収集資料および定期管理品のガス燻蒸(令和3年度は活性炭入替)委託費341千円
展示資料、調査研究資料購入	通年	なし
寄贈・寄託品の受入れ	通年	2月末日現在：寄贈9件 移管1件 ※餅つき機、すげ製かばん 他
郷土資料館総入館者数		1月末日現在：838人 臨時休館(4月25日～5月11日)

令和3年度 埋蔵文化財発掘調査等対応状況

■埋蔵文化財包蔵地照会件数 270 件（令和4年2月25日現在）

うち埋蔵文化財包蔵地内9件（民間6件、公共3件）

- ・本発掘調査【周知の埋蔵文化財包蔵地】 1件
- ・確認調査【周知の埋蔵文化財包蔵地】 2件
- ・試掘調査【周知の埋蔵文化財包蔵地外】 1件
- ・分布調査【周知の埋蔵文化財包蔵地外】 1件

	遺跡名 調査種別	事業名	対応
1	大野古墳 本発掘調査	地場産業工場建設造成 工事	本発掘調査の実施 7月26日～11月14日 直径約10m円墳 木棺直葬
2	大垣内遺跡隣接地 試掘調査	太陽光パネル	試掘調査（8月4日） 遺物及び遺構無し
3	童子山窯址隣接地 分布調査	包蔵地照会	分布調査の実施（10月18日） 遺物及び遺構無し
4	石上神社遺跡 確認調査	農作業小屋設置に先立 つ土地造成工事	確認調査(11月19日) 遺物細片を1点採取 遺物包含層並びに遺構無し
5	石上神社遺跡 確認調査	〃	確認調査(12月11日) 遺物の細片を2点採取 遺物包含層並びに遺構無し



令和3年度埋蔵文化財発掘調査箇所 位置図

令和4年度 文化財関係予定事業(文化財保護事業)

実施事業名	実施時期	実施内容等
各種開発に伴う文化財所在照会に対する回答	随時	
西脇小学校保存活用計画策定事業	2か年	文化財保護と教育現場の両立を目指し、計画を策定。
文化財保存活用地域計画作成準備作業	通年	市内全域の文化財の総合的な把握 ・西脇市史等の既刊行物等からのリストアップ
指定文化財管理事業	7月～9月	市指定文化財下山古墳公園及び古窯陶芸館の草刈り、植木剪定等 予算額 215 千円
指定文化財補助事業計画にアライング		西脇小学校保存活用計画(2年目) 荘厳寺多宝塔修理
無形民俗文化財調査	通年	市内秋祭り、神事等 7/20「大般若経転読」大木町(薬師堂) 10月初旬「なまずおさえ神事」板波町(石上神社) 〃 「お笑い神事」下戸田(八幡神社) 1/4「ワラワラ」市原町(妙覚寺)
広報にしわきコラム 「にしわき歴史探訪」	通年	
文化財防火デー事業 (西脇消防署共催)	1月 26 日前後	文化財防火デーに合わせて実施 場所未定
緑風台古窯陶芸館管理運営		兵庫県指定文化財緑風台窯跡及び出土遺物の保存公開と陶芸の普及啓発。 管理委託費 494 千円
西脇市文化財保護審議会	2回	

令和4年度 文化財関係予定事業(郷土資料館事業)

実施事業名	実施時期	実施内容等
特別展、企画展の実施	年間2回	うち1回は特別展「むかしの道具」
茶の間への出前講座	随時	「西脇市の文化財」
古文書講座	6月～	月1回 計5回を予定
研究紀要『童子山』の発刊	6月～	A5判 80頁程度。250部印刷。近隣図書館、公共機関、小中学校、博物館・資料館などに配布。一般頒価 1,000円。
ふるさと探訪ハイキング	年2回	未定
収蔵資料燻蒸作業	2～3月予定	年間収集資料及び定期管理品のガス燻蒸。 予算額 220千円
展示資料、調査研究資料購入	通年	予算額 80千円
寄贈・寄託品の受入れ	通年	
資料等利用許可	通年	

【参考資料】

観音寺のカヤについて

兵庫県立南但馬自然学校 学長

兵庫県立大学 名誉教授

服部 保

カヤは裸子植物、イチイ科、カヤ属の常緑針葉樹である。カヤは樹形、種子の形態などに変異が多く、2変種、4品種が知られている。変種として、カヤ (*Torreya nucifera* var. *nucifera*) とチャボガヤ (*Torreya nucifera* var. *radicans*) が記載されている。カヤ (var. *nucifera*) は高さ25m、幹周7mに達する巨樹となり、宮城県以南、屋久島以北の太平洋側の暖温帯に分布する。チャボガヤ (var. *radicans*) は高さ3m以下の匍匐性低木で、多雪地域である日本海側の冷温帯に分布する。カヤ (var. *nucifera*) の品種として、ヒダリマキガヤ (f. *macrospema*)、コツブカヤ (f. *igaensis*)、ハダカガヤ (f. *nuda*)、マルミガヤ (f. *sphaerica*) が報告されている。

カヤ (var. *nucifera*) の木材は基盤などの工芸用的高级材としてよく用いられる他、種子は食用、種子から取れる油は食用や髪油用となる。葉や果実の香りは良い。

カヤ (var. *nucifera*) は巨樹となるため、地域のシンボルとして天然記念物に指定されることが多く、国内全体で14ヶ所のカヤが天然記念物(国)に指定されている。兵庫県下では、国指定天然記念物として2ヶ所、県指定天然記念物として3ヶ所、市町指定天然記念物として16ヶ所のカヤが指定されている。天然記念物に指定されていない個体も含めて幹周5.3m以上のカヤの巨樹の個体数は全国に約96個体、兵庫県にも6個体存在する。

西脇市西脇 観音寺のカヤ (var. *nucifera*) は、落雷による樹冠部の幹折れによって樹高が約15mとなっているが、幹周は5.3mに達し、全国で100位内、兵庫県で7位内のカヤの巨樹である。枝張り、樹形、葉の状況などを見る限り、樹勢は正常であって、病虫害の発生などの生育に阻害となるものは2022年1月28日の調査では確認されなかった。以上のように、観音寺のカヤは、カヤの個体として十分天然記念物に値すると思われるが、これに加えて、天然記念物指定への要望書にも記されているように、地域住民のシンボルとして、大切に保全され続けてきたということも、文化財・天然記念物としての価値を十分有すると認められる。

なお、巨樹の天然記念物指定については、巨樹単木の指定がほとんどであるが、単木指定では、その巨樹の枯死と共に、指定が解除となる。地域のシンボルとして指定されているにもかかわらず、枯死と共にシンボルが失われることになる。観音寺では、後継樹のカヤが存在しないことから、今回、単木指定はやむを得ないことではあるが、今後、後継樹の育成をはかり、地域のシンボルが失われないような長期的な育成計画を立てていただきたい。

カヤの保全に関して、人の立入りによる根系への傷害を防ぐために、現在設置されている竹垣を完成させること、根の一部が露出している所については川砂等を敷くなどの対策が必要である。また、カヤの枝張りの範囲内にカヤの根系が広がっているため、駐車等については十分な注意が望まれる。